



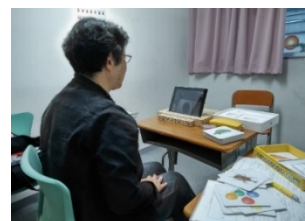
コロナ禍によるピンチをチャンスに！！

5月末に緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ予断が許されない状況が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？自粛で楽しみが奪われてしまい、無為の状態になりがちではないでしょうか？でも今こそ！ふだんやれなかったことをやるチャンスです。そして、そのやったことで身についた技術や知識は一生の自分の財産になるのです。

あかねの会でもA型事業所の清掃部門の仕事が減り、午前、午後交代で仕事に入る体制にせざるを得ない状況ですが、仕事のないメンバーはわれもこうビルの1階で待機しています。その間に鶴の折り方を教えて、たくさんの鶴を折ってもらっています。就労している人達も会社から自宅待機を要請され、寮や家においても無為な生活になりそうなので、三密にならないよう曜日を決めて、われもこうビルに来ている人もいます。就労していても鶴が折れない人がたくさんいて驚きましたが、教えていくと少しずつですが折れるようになってきました。きっと彼らの自分自身の財産のひとつになるだろうと



確信しました。みんなが折った鶴を来年の正月旅行で、「3. 11」から10年を迎える福島県に行き、数年前訪問した老人ホームに届けたいと思っています。「震災に負けず生きている人達がいる」ことを知り、私たちも「コロナに負けず誰かのために、何かの役に役に立つ生き方をしたい」と思います。



スカイプでの指導

発達支援部 あかねっこの4教室では、電話、スカイプやズームを使ったビデオ通話を利用した遠隔指導を行いました。最初は指導員もお子さんたちも戸惑いもありましたが、やってみると、今までわからなかった新たな課題が見つかったり、お子さんの聴く力が伸びたりと思わぬ効果があり、望外の喜びでした。

就労支援部 自宅や寮で日中過ごせる利用者には通所を自粛していただきました。その結果、各事業所2名から5名程度の利用者が通所し、仕事に取り組みました。いつもは他の利用者が取り組んでいる仕事にも携わらなければならず、仕事の幅が広がりました。自粛している利用者には支援員が1日に2回電話をしました。自宅でしゅうを頑張る姿を親御さんに見てもらい、喜ぶ利用者もいました。

生活支援部 各寮に支援員が見守りに入って、寮で待機している利用者の健康チェックを行い、体力維持のために散歩の見守りもしています。毎日1時間歩くことを続けている人達は体重も減ってきました。散歩先で見つけた素敵な景色を写真で送ってくれる人もいます。

余暇支援部 「移動支援おでかけ」では、健康のための散歩のガイドヘルプも受け付けています。「日中一時支援ひだまり」では、密にならない様、5人位ずつの参加に絞らせていただき、「音楽」「ダンス」「手話」の3つのクラブを、フェイスシールドを使用して5月、6月と実施しています。



相談支援部 先日ある親御さんから皆さんは自粛をどうしているのかと聞かれた際に、具体的にお答えすることができました。地域で生活されている方々の状況を把握することの重要性に改めて気づかされ、相談支援専門員としての役割を再認識することができました。

6/21(日)に開催予定の「事業報告会・発表会」は、コロナ感染症予防のため中止となりました。